

JCB、Copilot for Microsoft 365 の社内活用を本格化

～生成 AI を使った生産性・創造性向上への挑戦～

株式会社ジェーシービー（以下：JCB）は、2024 年 6 月より、生成 AI ツール「Microsoft Copilot for Microsoft 365（以下、Copilot for Microsoft 365）」の社内活用を本格化します。

導入背景

JCB では、日々の社員パフォーマンス向上を目指して、会議・資料作成・手続きなど、日常的な社内業務の効率化に取り組んでいます。その新たな手段として、生成 AI の活用についても注目していました。当社内ではグループウェアや日常的な社内業務の実施には Microsoft 365 や Office 製品を活発に使用していたため、多くの従業員がすぐに利用できるという親和性から、数ある生成 AI ツールの中で「Copilot for Microsoft 365」を選びました。

そこで、2024 年 1 月から、Copilot for Microsoft 365 の社内実証実験を開始。一部社員にて、主に会議の要約、メール・資料のドラフト作成、情報検索を中心に幅広く検証を行いました。これら主要なシーンで利用するだけでも月間 7,500 時間以上（従業員 1 人あたり月間約 5 時間以上）の労働時間削減効果があること、また、当社内のあらゆる職種・役職の社員の生産性向上に貢献できることが検証できました。さらに、ロールプレイやアイデア創出をはじめとする、企画・創造性の高い業務の補助としても有効活用でき、社員の日常的な働き方を変えていく可能性も確認できました。

今後の展開

2024 年 6 月より、一部社員に留めていた利用を社内 1,000 人規模へ拡大し、Copilot for Microsoft 365 の社内活用を本格化します。今後は社員に対してのプロンプトスキル向上のための学習の提供や、各組織が持つ固有の業務への活用ケースを発掘し、効果の最大化を目指します。削減した時間は、企画・創造的な業務に活用していきます。

また、Copilot for Microsoft 365 により、会議や資料作成、メール等、社員の日常的な仕事のやり方自体を変えることに挑戦していくために、社員支援やノウハウの情報展開を行う予定です。さらに、業務や顧客サービスに生成 AI を組み込み、業務効率化や自動化、お客様体験価値向上を実現するためには、生成 AI 処理と既存の社内システムとの連携も必要になることから、Azure OpenAI Service も併せて活用していく予定です。

当社は、デジタル技術の活用において、アジャイル開発体制の構築やノーコード開発の推進などを行っています。さらに、今後来る AI との「共生」の時代に向け、その備えの第一歩として生成 AI の活用と研究も積極的に行い、AI と共に新たな価値の創造にチャレンジしてまいります。

Microsoft Copilot for Microsoft 365 について

Copilot for Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Teams などの毎日使用する Microsoft 365 アプリと、Microsoft Graph*のコンテンツと連携する、大規模言語モデル(LLM)を使用した AI 生産性ツールです。

*: Microsoft Graph は、Microsoft 365 サービス全体に保存されているデータ(カレンダー、メール、チャット、ドキュメントなど)へのアクセスを提供するもの。

*:Microsoft、Microsoft 365、Microsoft Teams、PowerPoint、Excel、Outlook、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

*:Microsoft 365 は、Microsoft Corporation が提供するサービスの名称です。

以上